

令和7年度の学校評価

本年度の重点目標	地域・保護者から信頼され、生徒が学びたいと思う学校づくり		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
保護者との連携 (企画広報部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と連携し、よりよい学校づくりを心がける。</li> <li>広報活動を活発に実践する。</li> <li>適切なタイミングで文書を発行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、インスタグラムを用いて、活動報告、特色、魅力を発信する。</li> <li>メール配信をより一層活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事のありかたを検討し、参加しやすい内容・形式にする。</li> <li>一斉メールへの登録を促す。</li> </ul>
学習指導 (教務部) (各教科会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領に沿った授業への改善をすすめ、生徒が授業に意欲的に取り組む態度を育成するとともに、達成感を得られるように努める。</li> <li>科目選択をする際、学びや進路に対して、どんな科目が必要なかを学校全体で共有していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の授業の問題点を見つけ、その改善に努める。</li> <li>現職研修を行い、教員間で考え方を共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員間の意見の共有だけでなく、データを取ったり、それを分析することによって、客観的に判断することも含めながら改善を進めたい。</li> <li>生徒だけでなく、教員も初めて場合がほとんどなので、全員が理解できるよう、丁寧に進めていく必要がある。</li> </ul>
生徒指導 (生徒支援部) (各学年会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>生徒が場に合った身だしなみを身につける</li> <li>生徒が自らの手で、生徒宣言を浸透させ、自分たちでより良い学校づくりができる、生徒による自治活動を促進する。</li> <li>いじめ防止について保健部（教育相談係）との連携を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指す生徒像をあらゆる場面で方法を工夫して伝え続ける。</li> <li>問題行動の未然防止を徹底する。</li> <li>職員間、職員と保護者間、職員と地域間の連絡を密にした体制で臨む。</li> <li>指導・支援チームからの共通理解と意識啓発を図る。</li> <li>生徒の自治活動をサポートし、活動を活性化させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣や身だしなみの重要性を考えさせ、実践させることで将来必要な力が身につくよう、指導する。</li> <li>欠席・遅刻数の減少に向け、生徒への支援・指導を強化する。目標設定を具体化させる。</li> <li>心理的安全性を保ちつつ、自分たちで今あるルールを大切にする雰囲気づくりができるよう支援・指導を工夫する。</li> </ul>
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員、生徒の信頼関係に基づき指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路志望状況を職員集団で共有する。</li> <li>卒業生の進路を参考にし、効果的に指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望調査等のデータを共有する。</li> <li>進路検討会等を使って個々の生徒に対する指導方針を検討する。</li> <li>生徒の多様な進路希望を叶えられるように柔軟に対応する。</li> </ul>
保 健 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちよく授業に臨める学習環境にする。</li> <li>教育相談を充実させる。</li> <li>生活習慣や環境を整え、落ち着いた生活を送ることができるように支援する。</li> <li>性に関する正しい知識を身につけ、適切な意思決定や行動選択ができるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常清掃について、美化委員を通じてゴミの分別を呼びかけ、清掃・美化活動について啓蒙を図る。</li> <li>スクールカウンセラーによるカウンセリングが適切に行われ、相談した生徒が円滑に学校生活を送るのに資する。</li> <li>保健室来室時の記録票、生徒からの聞き取りにより、生活習慣の課題を把握し、改善に向けて指導する。</li> <li>性に関するアンケートを実施し、生徒の実態を把握す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室・トイレ・外庭などが清潔に保たれているようにする。</li> <li>教育相談が必要な生徒について、情報を共有し、適切に対処できるようにする。</li> <li>保健委員を中心として、生徒の手による活動を活発にする。</li> <li>5W1H に沿って聞き取り、生徒自身が課題に気づき、改善点について考えさせることができたか。</li> <li>アンケートから実態をとらえ、問題点を明確化するこ</li> </ul>

		る。関係教職員、講師と事前打ち合わせを行い、生徒の実態に合わせた保健講話を実施する。	とができたか。 ● 生徒の実態に合った講話をすることができたか。
生徒会 (生徒会部)	● 学校行事（生徒会行事）や部活動に、生徒たちが主体となって参加して取り組むことができる環境を整え、明るく活力ある学校運営につなげていく。	● 生徒会執行部だけではなく、生徒一人ひとりが活動を活性化を目指し、学校全体で諸行事、部活動を展開していく意識を持たせることに努める。	● 生徒が主体的に活動できるよう職員が支援し、安心して行事に参加できるようにする。 ● 感染症や熱中症対策、ケガの防止には細心の注意を払う。
総合学科推進 (総合学科推進部)	● 「産業社会と人間」及び「地域探究Ⅰ・Ⅱ」について、学年と連携しながら円滑な運営に努める。 ● 探究学習を核とした学校の在り方についてビジョン及び実践の浸透に努める。 ● 令和8年度以降を見据えて、教育内容・組織体制を整備し、職員への研修を推進を通して共通理解を得る。	● 「産業社会と人間」及び「地域探究Ⅰ・Ⅱ」において、該当学年や協力いただく外部機関との丁寧なやり取りを進め、連携体制を構築する。 ● 地域連携コーディネーターを活用し、連携体制の一層の整備を図る。 ● 今年度中に複数回現職研修やワークショップを行い、ビジョンを共有できるよう努める。	● 探究学習における生徒の心理的安全性の確保に努める。 ● 教職員全員がビジョンを共有して進めていくことが肝要であるため、日ごろから連携を密にし、協力できる体制づくりに努める。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		● 学習指導 「主体的・対話的で深い学び」の実現とともに、他者との協働を通じて課題に挑戦し、解決を目指す。 ● 進路指導 自身の「これまで」「今」「これから」について向き合い、自己の強みを伸ばしていけるキャリア教育を実践する。 ● 教育環境の整備 教職員の適性や能力を生かすような業務の適正化を図るとともに、在校時間等の記録を把握して心身の健康を保つ。	

前年度の学校評価  
[自己評価結果等]

前年度の重点目	地域・保護者から信頼され、生徒が学びたいと思う学校づくり		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保護者との連携 (企画広報部)	● 保護者と連携し、よりよい学校づくりを心がける。 ● 適切なタイミングで文書を発行する。	● ホームページを用いて、効果的に情報を発信する。 ● メール配信をより一層活用する。	● ホームページはタイムリーかつ効果的に日常の行事への取り組み及びその成果を発信できた。令和7年度は全学年が総合学科となるので、その活動報告を更に充実させたい。 ● 保護者への情報発信のために、年度途中より1・2年生にスタディーサプリを導入した。保護者への確実な伝達手段としてたいへん効果的である。今後も、より充実した活用方法を考えていきたい。
学習指導 (教務部・各教科会)	● 新学習指導要領に沿った授業への改善をすすめる、生徒が授業に意欲的に取り組む態度を育成するとともに、達成感を得られるように努める。	● 本校の授業の問題点を見つけ、その改善に努める。 ● 現職研修を行い、教員間で考え方を共有する。	● 各々で実践した授業を、各教科で話し合い、職員会議で報告してもらった。 ● お互いの授業を参観できる雰囲気を作り出すために、授業シェア週間を設定し、チームズで情報共有した。 ● 授業を受けている生徒の意見をj知るためにも、アンケートフォームの確立した。 ● 実践したことが一本に繋がるよう、計画の段階から、テーマの設定などを工夫していきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>科目選択をする際、学びや進路に対して、どんな科目が必要なかを学校全体で共有していく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>現職研修をはじめ、科目選択説明会の実施にあたっての情報共有など、横の連携をとることができた。</li> </ul>
<p>生徒指導 (生徒支援部・各学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が基本的な生活習慣を身につける。</li> <li>生徒が場に合った身だしなみを身につける</li> <li>生徒が自らの手で、生徒宣言を浸透させ、自分たちでより良い学校づくりができる、生徒による自治活動を促進する。</li> <li>いじめ防止について保健部（教育相談係）との連携を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>期待される人間像をあらゆる場面で方法を工夫して伝え続ける。</li> <li>問題行動の予防的指導を徹底する。</li> <li>職員間、職員と保護者間、職員と地域間の連絡を密にした体制で臨む。</li> <li>指導・支援チームからの共通理解と意識啓発を図る。</li> <li>生徒の自治活動を時にサポートし、活動を活性化させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導に支援の視点を採り入れることを先生方に周知し、徐々にそれぞれの生徒に入るように指導して頂けるようになってきている。</li> <li>生徒の自治活動を活性化させるべく、ルールメイキングプロジェクトチームや生徒会執行部を動かすことが十分ではなかった。自治活動を促進させるための手立てを、生徒と一緒に考えたい。</li> <li>生徒とのコミュニケーションを増やすことができるよう、生徒支援・指導のノウハウを共有する場を設定することが少なく、教員のスキルの向上につなげることができなかった。</li> </ul>
<p>進路指導 (進路指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員、生徒の信頼関係に基づき指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の進路志望状況を職員集団で共有する。</li> <li>卒業生の進路を参考にし、効果的に指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年団の協力を得て面談を活用しつつ、各生徒に応じた進路を実現した。</li> <li>スタディサプリを導入し、活用を図った。</li> <li>大学進学に、年内入試を積極的に活用したい。</li> </ul>
<p>保健 (保健部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気持ちよく授業に臨める学習環境にする。</li> <li>教育相談を充実させる。</li> <li>生活習慣や環境を整え、落ち着いた生活を送ることができるように支援する。</li> <li>性に関する正しい知識を身につけ、適切な意思決定や行動選択ができるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常清掃について、美化委員を通じてゴミの分別を呼びかけ、清掃・美化活動について啓蒙を図る。</li> <li>スクールカウンセラーによるカウンセリングが適切に行われ、相談した生徒が円滑に学校生活を送るのに資する。</li> <li>保健室来室時の記録票、生徒からの聞き取りにより、生活習慣の課題を把握し、改善に向けて指導する。</li> <li>性に関するアンケートを実施し、生徒の実態を把握する。関係教職員、講師と事前打ち合わせを行い、生徒の実態に合わせた保健講話を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美化委員に協力をしてもらい、かなり高い割合でしっかりとゴミの分別をすることができた。</li> <li>今年度は例年以上に SC との面談を希望する件数が多かった。特別支援教育コーディネーターと養護教諭で協力して、適切に面談の予定を立て、相談した内容を職員に共有することができた。</li> <li>保健室来室が例年になく多く、一人一人にしっかりと寄り添うことが難しかった。しかし、可能な限り生徒の訴えに傾聴し、適切な指導を行うことができた。</li> <li>3年計画の性教育の仕上げに、愛知医科大学から講師を招き、生徒の実態に概ね合わせた講話を行うことができた。</li> </ul>

<p>生徒会 (生徒会部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事（生徒会行事）や部活動に、生徒たちが主体となって参加して取り組むことができる環境を整え、明るく活力ある学校運営につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会執行部だけではなく、生徒一人ひとりが活動の活性化を目指し、学校全体で諸行事、部活動を展開していく意識を持たせることに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事や部活動に前向きに取り組む生徒が年々増加している。生徒会執行部だけでなく、「学校行事のリーダーズ」という下部組織や部長と共に、企画運営も生徒たちが行う機会もあった。</li> <li>部活動と業後の探究活動を両立する生徒が、うまく自身のスケジュールをコントロールできるような土台作りが必要である。</li> </ul>
<p>総合推進 (総合学科推進部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「産業社会と人間」及び「地域探究Ⅰ」について、学年と連携しながら円滑な運営に努める。</li> <li>探究学習を核とした学校の在り方についてビジョン及び実践の浸透に努める。</li> <li>令和7年度以降の教育活動について、内容・体制を整備し、職員への研修を推進し共通理解を得る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「産業社会と人間」及び「地域探究Ⅰ」において、該当学年や協力いただく外部機関との丁寧なやり取りを進め、連携体制を構築する。</li> <li>今年度中に複数回現職研修やワークショップを行い、ビジョンを共有できるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業社会と人間」及び「地域探究Ⅰ」については、校内向けには定例会、対外的にはメールやオンライン会議によって丁寧に連携を進めることができた。</li> <li>今年度は特に探究成果発表会（Inuso Changemaker Classic）について、校内での説明会を丁寧に実施し、円滑な実施につなげることができた。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<p>総合学科2年目として、「地域探究Ⅰ」や「産業社会と人間」だけでなく、授業外の探究活動でも外部団体と積極的に連携し、生徒を前面に出してチャレンジさせる機会が随所に見受けられた。また、初めて探究学習成果発表会(ICC)を実施し、1・2年生全員が探究活動の発表と振り返りを行い、次の探究活動へつなげることができた。来年度はこれまで以上に分掌や学年が集団としての意識合わせと情報共有が必要になる。スクールポリシーにあるチェンジメーカーの育成を最上位目標とし、生徒のためにさらに組織の活性化を積極的に行っていく。</p>		